

RICOH

Visual Communication

お客様導入事例



リコーインタラクティブホワイトボード（IWB）と電子カルテを組合せて、

先進的なビジュアルで伝える診察システムを構築。

より患者様へわかりやすく納得いただける診察を実現されました。

## 医療法人彦星会 ふなつ眼科 様

■ご導入商品：RICOH Interactive Whiteboard x 2台

■ご導入拠点：ふなつ眼科（山口県周南市）

Company Profile

■主な業務内容：眼科専門医院。一般眼科はすべて診療。

■URL：http://www.hikoboshi-kai.or.jp/funatsu/

※IWBは医療機器ではありません。

そのためIWBに表示した写真や画像データにより疾病を診断することはできません。



SF映画に出てくる3Dディスプレイのようなビジュアルで「魅せる」診察ができないかと考えていました。



医療法人彦星会 ふなつ眼科  
院長 船津浩彦 様

ふなつ眼科様は2018年2月に山口県周南市内に医院を新築移転。その際、船津院長には診察室に取り入れたいアイデアがあったといいます。

「診察室に大型モニターなどの新しい情報機器を導入して、もっとビジュアルに『魅せる』診察がしたかったんです。アイデアのベースはSF映画に出てくるタッチ操作できる3Dディスプレイです。リコージャパンにこのことを相談したところ、『大画面でタッチ操作ができるIWBならば実現できるかもしれません』と回答をいただきました。実現には電子カルテシステムとの連携に課題がありましたが、電子カルテベンダーのピーラインに協力いただき、システムのカスタマイズにより課題を解決。こうして、IWBと電子カルテの組合せで、電子カルテの画面をIWBに大きく映し、タッチ操作で画像や検査データが動かせる先進的な診察環境が完成しました。」

### 導入前の課題

これまで、検査データや画像はパソコンのモニターを使って説明していたが、大きく表示することができず、わかりやすく十分納得いただける説明が難しかった。

診察後にメモ書きで伝えたことを改めてカルテに追加する作業が発生していた。

診察で説明した記録をすべて保存することができず、説明した内容は文字のみでの記録にとどまっていた。

### 導入後の効果

IWB上で複数の検査データや画像をタッチ操作で並べられ、たくさんの情報を1つの大きな画面内に表示できるので、様々な検査データや画像を比較しながらビジュアルを用いて患者様へ説明ができるようになった。

IWBを用いて書きながら説明した内容が、診察データとしてそのまま電子カルテに保存されるため、診察後にカルテに追加する作業がなくなった。

IWBに書いたり映したりして説明した診察内容が電子カルテにそのまま記録できるので、患者様に説明した過程を正確に保存できるようになった。

検査データをビジュアル化してわかりやすく説明。

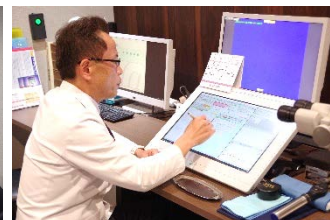
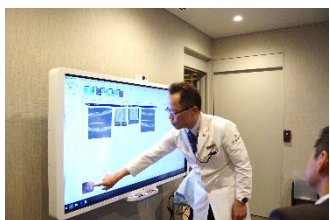
患者様がより納得する診察へ、

満足度向上につながりました。

## IWBを使って説明した診察内容も正確に電子カルテに記録。患者様との円滑なコミュニケーションを実現。

システムを導入したことで、口頭だけでは伝わりづらい診察内容をビジュアル化して、患者様にわかりやすく説明することが可能になりました。眼科では非常に多くの検査データがあり、多くの画像を扱います。左右の眼のデータを比較したり、検査経過として比較しながら患者様に説明しますが、従来はパソコンのモニター1台で画像データを表示させて説明していました。画面も小さいので、患者様が診察で説明した内容を十分理解できていないと感じることもありました。今では、IWBでは大きな画面に写真や図を並べて表示させ、拡大したり、位置を入れ替えたり、ときには画像の上に書き込みをしながら、より患者様へ丁寧でわかりやすい説明が可能となりました。また、IWBはどの角度から見ても視認性が高いため、患者様とご家族の方へ一緒に説明する場合でも、位置を気にすることなくお話することができます。その結果、患者様へわかりやすく納得いただける診察を実現。満足度の向上につながっています。

IWBの導入によるもうひとつのメリットは、診察内容を電子カルテにそのまま記録できることです。これまでは、診察で治療方法を説明しても、再診の際、患者様の記憶が曖昧になって前回説明した治療内容を忘れていたり、治療計画通りの実施されていないケースも見受けられました。診察時に書いた図や、どのデータを見せて説明したかというような記録まで残せなかったため、お互い曖昧になっていることもありました。今回導入したシステムはIWBに書いた内容が、保存操作で画面上に書き込んだ図や文字も含めて、説明内容を丸ごと電子カルテ内に記録できているので、再診の際も前回説明した内容を振り返りとして臨場感をもって再表示が可能です。患者様も治療の内容を納得してもらいやすくなったと思いますし、患者様にとっても治療の経過が明確になり、安心して治療を続けていただけたと思います。これまで以上に、患者様とスムーズなコミュニケーションが取れています。



電子カルテにある検査データをタッチ操作で動かして表示。いくつものデータを並べて表示でき、拡大縮小もピンチ操作で簡単にできます。

IWBのホワイトボードモードに切替えて、治験の内容を絵や図で説明。書いて説明した内容は、保存操作でそのまま電子カルテに記録されます。

4大選定点



- ① タッチ操作で画像や検査データが動かせる直感的な操作性。
- ② どの角度からでも見やすい視認性の良さ。
- ③ ビーライン様製の電子カルテシステムと連携性
- ④ 全国各地に営業所があるリコージャパン保守体制の安心感。

ふなつ眼科様のソリューション事例を、さらに詳しく、Webで。

[http://www.ricoh.co.jp/case/1810\\_funatsuganka/](http://www.ricoh.co.jp/case/1810_funatsuganka/)



RICOH Interactive Whiteboard (電子黒板) [ricoh.co.jp/iwb/](http://ricoh.co.jp/iwb/)



本レポートは、リコーが提供する新しいクラウドサービスである Clickable Paper サービスに対応しています。

スマートフォン/タブレット端末用アプリケーション「TAMAGO Clicker」(無料)をダウンロードし、ページを撮影(クリック)すると、関連情報のあるインターネット上のサイトをご覧いただけます。  
[www.ricoh.co.jp/software/other/clickablepaper/](http://www.ricoh.co.jp/software/other/clickablepaper/)

**RICOH**  
imagine. change.

リコージャパン株式会社

お問い合わせ・ご用命は

<http://www.ricoh.co.jp>